

平成25年度地産地消を軸とした千葉地域食育活動交換会

千葉農業事務所企画振興課 平成25年9月11日

千葉農業事務所は、千葉地域における地産地消を推進するとともに、ちば食育ボランティア・ちば食育サポート企業等の協力による地域に根ざした食育活動を促進していくため、「平成25年度地産地消を軸とした千葉地域食育活動交換会」を開催しました。

本食育活動交換会では、コープみらい千葉県本部参加とネットワーク推進室の村井早苗氏をファシリテーターに迎えて、ちば食育ボランティア、ちば食育サポート企業並びに千葉地域食育推進会議構成機関及び団体の食育担当者による「ワークショップ」を実施しました。

このワークショップでは、出席者が5グループに分かれ、各グループが「①食育・地産地消に興味・関心をもってもらい、実践につなげるための企画」「②食育ボランティア・食育サポート企業・各市などの食育担当者が連携してすすめる企画」という2テーマのいずれかを選択した上で、意見交換を通じた企画立案に取り組みました。

具体的には、村井氏の司会進行のもと、各グループのメンバーはまず、各自の「食への思い」を説明しました。つぎに、その思いを具体的なプログラムとするため、グループ内での意見交換によって、上記2テーマに係る企画作りを行いました。最後に、各グループが、他のグループに対して企画を発表しました。グループからは、食育・地産地消の実践としての「親子でつくろうチーバくん弁当」や「ちばのお米でまんてん笑顔」等の企画内容が説明されました。

出席者からは、「ボランティア・食育サポート企業・行政等の色々な視点からの食に対する思いや考えを聞くことができ、新たな発見があった」「ワークショップを初めて体験したが、企画書を作るところまで経験できて良かった」等の感想がありました。

